

1. 指定管理者名		河川自然環境保全復元団体 リバーサイドヒーローズ							
2. 指定期間		平成31年4月1日 ～ 令和6年3月31日							
3. 業務の範囲		(1)施設の利用に関する業務①来館者の応対②イベント、講座や展示会を企画し、実施すること③イベント、講座の申し込み受付④小学校等の総合的な学習の時間における対応⑤生き物の飼育展示及び館内での自然体験業務⑤展示物・書籍等の管理⑥ビオトープの管理⑦水槽及び付属機器の保守管理 (2)公共機関及び関連団体、自然団体や市民団体との共同事業、事業活動サポート、河川整備事業に係る助言等のサポート、連絡調整会議への出席、講師派遣の協力等を行うこと。 (3)観察館の管理運営の支援的役割を担う委員会を設置すること。 (4)自然及び文化に関する情報の収集及び提供に関すること。							
4. 採点表									
評価項目		細目		配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)	分析、評価、指示等		得点
1 運営・利用状況 (40点)	(1)利用状況 (10点)	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間)	5	平均値比(注) 105%以上:5点、105%未満～95%:4点、95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用率を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用率の平均値 平均値比(●●%)=利用率(●●%)÷上記(1)。(2)又は(3)	105%以上 5点			
			②利用人数	10	平均値比(注) 105%以上:5点、105%未満～95%:4点、95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点 【得点について (1)①該当が無いため ②の配点の2倍とする】	平均値比とは、当該評価対象年度の利用人数を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用人数の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用人数の平均値 (例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用人数) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用人数実績に所要の調整をして算出した値 平均値比(●●%)=利用人数(延べ●●人)÷上記(2) 入館者数平均: 令和元年3,399人÷令和2年2,584人÷令和3年3,369人÷令和4年4,155人÷4＝3,376.8 平均値比: 令和5年4,623÷3,376.8×100＝136.9% (資料①)			105%以上 5点
		(2)市の事業の企画・運営・実施状況 (仕様書内)(15点)		30	仕様書以上:15～12点、仕様書に忠実:11～9点、仕様書の一部不実施(軽微):8～7点、仕様書の一部不実施(中程度):6～3点、それ以下:2～0点 【得点について (3)該当が無いため ②の配点の2倍とする】	仕様書に「年度を通じて36回以上のイベント、8回以上の講座及び10回以上の展示会を企画し、実施すること」とあるが、イベント件数43/50回(実施/企画)、講座は12/12件(実施/企画)、展示会は11/11回(実施/企画)であった。(資料②-1) 小中学校への総合的な学習の時間への支援は、新型コロナ対応のため慎重に実施。河川体験の事前授業をおこなったり、河川体験も人数の多い学校では数回に分けて安全に行っている。(資料②-2) 幼稚園・保育園への支援は令和4年度と比較して増加している(市内5園、市外3園)。(資料②-3) 「国土交通省、岐阜県、多治見市などの公共機関及び関連団体に協力」する旨を仕様書に定めており、令和4年度と比較して、総合学習・行政・公共施設・市民団体のすべてにおいてサポート件数が増加している。(資料②-4)	仕様書以上 14点	仕様書のイベント回数を上回った。イベント参加者合計は令和4年度を上回る結果となった。小学校等の総合学習への支援も多様化しており、河川体験を安全に実施するための事前授業を行ったり、時間の足りない時は先生にフォローしてもらい、河川体験を安全に実施するための事前授業を行ったり、時間の足りない時は先生にフォローしてもら	